

要 望 書

陸奥湾における掃海訓練の継続実施について

青 森 県 む つ 市
青 森 県 む つ 市 議 会

陸奥湾における掃海訓練の継続実施について

四方を海に囲まれた島国である日本にとって、海の安全を守ることが我が国の平和維持に直結するところであり、海上自衛隊の任務の重要性につきましては、十分に認識いたしております。

中でも、戦時に敷設された機雷の撤去を任務とする掃海部隊は、湾岸戦争後の1991年にペルシャ湾において多くの機雷を除去し、自衛隊の国際平和協力活動の先駆けとなりました。

常に危険と隣り合わせの任務を遂行するに当たっては、日頃の厳しい訓練の積み重ねが必要不可欠であり、例年、本県の下北半島と津軽半島に囲まれた陸奥湾においても、大規模な掃海訓練を実施いただいております。

海上自衛隊と大湊地方総監部が所在するむつ市は、明治35年の海軍大湊水雷団創設から、長年にわたり共存共栄の関係にあり、国際舞台においても重要な役割を担っている海上自衛隊に対して、地域が一丸となって応援し、協力する土壌があります。

つきましては、当地域の経済効果にも、掃海部隊の大湊港入港に伴う隊員の皆様の滞在が大いに寄与いただいているところであり、今後におかれましても、陸奥湾における掃海訓練を継続して実施いただきますよう要望いたします。

平成31年 月 日

むつ市長 宮下 宗一郎

むつ市議会議長 白井 二郎